

浄水処理の塩素酸抑制

環境・エネルギー

ワイドハーバー、装置開発

食品・化学工場に拡販

【神戸】ワイドハーバー(神戸市西区、廣津義憲社長、078・992・8092)は、地下水の浄水処理過程に用いる次亜塩素酸ナトリウムから規制対象である塩素酸の生成を抑える装置を開発、発売した。水道の水质基準省令改正で4月から塩素酸が規制対象物質に指定されたことを受け、浄水処理などで高まる塩素酸を抑制する需要を取り込む。装置の価格は設置費用込みで1基100万~200万円。食品や化学工場、大量の地下水を飲料用にするホテルなどに売り込み、年内に4件の受注を目指す。

塩素酸は次亜塩素酸ナトリウムの分解によって生成する。同社は塩素酸の発生量が温度の高さに比例する点に着目し、次亜塩素酸ナトリウムを冷

準値である0.6mg/L以下に抑制できる。また、

冷却に利用した地下水も浄水処理できるといふ。

今後はすでに開発済みの生物処理方式のアンモニア除去装置と組み合わせ、地下水浄化システムとして販売を強化。同装置と塩素酸の生成抑制装置で年間約1億円の売り上げを見込む。同社は新装置の販売を柱に09年1月期の売上高で4億円以上(08年1月期は約3億円)の達成を狙う。

却する方法で生成を抑え

る仕組みを採用した。具

体的には繊維強化プラス

チック(FRP)でコーテ

ィングした鋼板製タンク

準省令改正で定められた

1辺当たりの塩素酸の基

下水を流すことで、タン

ク中の次亜塩素酸ナトリ

ウム溶液を冷却する。こ

れにより、水道の水質基

準省令改正で定められた

1辺当たりの塩素酸の基